

学校におけるカウンセリングを考える会 公開講演会

あたたかな関係づくり

～子ども、保護者、教師が元気になるために～

名城大学 曾山和彦

2007.9.2

元気な姿とは？

- ◆明るい笑顔がある
- ◆やりがい感・充実感にあふれている
- ◆一生懸命に物事に向かっている

等々

今、家庭や学校で、子ども、大人(保護者、教師)の元気な姿がどれくらい見られるだろうか

元気のない子どもたち

小1プロブレム(2007.5.21 毎日新聞)

- ◆授業中に歩き回る。ロッカーに物をしまえない。私語が絶えない。幼児のような小学1年生が増えてきている現象。

人とかかわる体験不足(東京学芸大、小林教授)

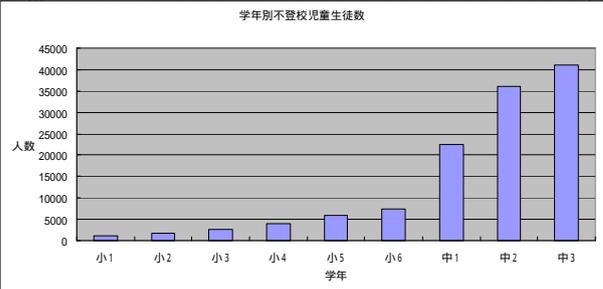
<各自治体の取り組み>

ボランティアによる見守り、絵本読み聞かせ、入学一ヶ月後の学級再編成(神奈川)

5歳児に「プレスタディ」として合同授業(奈良)

元気のない子どもたち

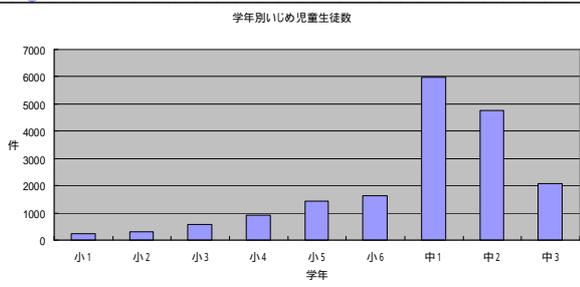
中1プロブレム;不登校の激増



H17;中学になると約3倍(7483人 22566人)

元気のない子どもたち

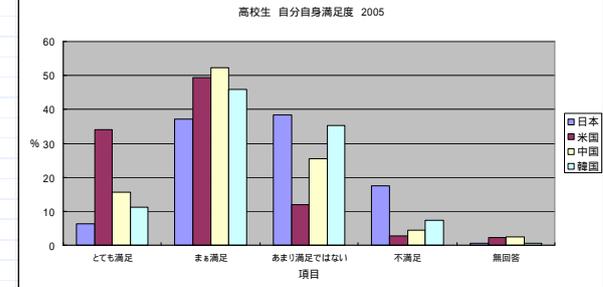
中1プロブレム;いじめの激増



H17;中学になると3倍以上(1637件 5967件)

元気のない子どもたち

低い自尊感情



日本青少年研究所「高校生の友人関係と生活意識4カ国比較」より

元気がない保護者

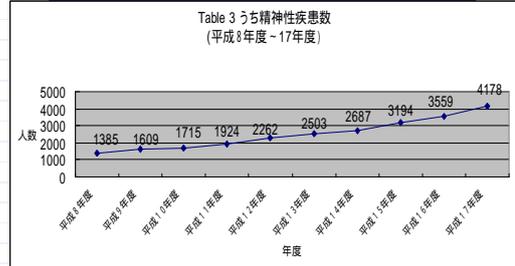
モンスターペアレント(2007.2.12 産経web)

- ◆モンスターペアレントとは、無理難題を教育現場に持ち込む親のこと
- ◆授業中、立ち歩いている子を注意したところ、職員室で何時間も怒鳴り散らす親。朝早くから夜遅くまで担任や校長に電話をかけ、何時間も文句を言う親...等々

元気がない教師

増え続ける教師の病気休職

10年前の約3倍に！ 右上がり増加！



病気休職者に占める精神性疾患者の割合は59.5%(H17)

何故、今、人は元気がないのか

- ◆多くの子ども、大人が欲求不満でイライラ感が募っているのではないか
- ◆イライラ感を、他者にぶついたり(「おまえ、何やってるんだよ!」)、自分自身にぶついたり(「私はなんてダメな人間なの!」)して、それが結果的に多くの人の元気を奪う悪循環を生んでいるのではないか

どうすれば、人は元気になるのか

人とかかわる、つながる = ふれあう

- ◆ふれあいは人を癒す
- ◆ふれあいは人を育てる
(= 新たな自己に気づく)

ふれあい促進(= あたかな関係づくり)の技法としてエンカウンターが注目を浴びている

ふれあい促進のベースづくり

～安全欲求に応える～

アイスブレイキング = 心の氷溶かし

- ◆相手の土俵(趣味等)で語り合う、一緒に楽しく身体を動かす、等々

演習1 「バースデーライン」

演習2 「ネームゲーム」

演習3 「質問ジャンケン」

ふれあいの促進

～承認欲求に応える～

1. いいところ探し; 「A君のいいところは だね」
2. リフレーミング; 「短所は飽きっぽいところ」「それは という長所でもあるよ」
3. 勇気づけ; 「ありがとう」、「うれしい」、「助かった」

失敗しても自尊心、所属感を失わない態度

子どもも大人も元気になる魔法の言葉がけ

誰もが元気になる！魔法シート

演習4 「いいとこ四面鏡」

1. シートに自分の名前、メンバーの名前を記入する
2. グループ内でシートを回す(交換する)
3. 自分の名前の欄に、その人のいいところだと思う場所に を3個つける。
4. メンバー全員交換し、書き終えたら自分のシートを見る
5. どうしてその項目に をつけたのか、お互いに伝える

シート交換時の「お願いします」のスキルも大切に！

子ども、保護者、教師が元気になるために

子どもも大人も、全ての人は
人の中でしか人になることはできない

- ◆ふれあいの場をつくる！
- ◆ふれあいの場に参加する！

今日、共に学んだ仲間として
力を合わせて！！